

学童保育所の運営・管理業務の検討について

1. 学童保育所の現状

(1) 登録児童数の推移と支援員の配置数

(単位：人)

項目	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
登録児童数	503	531	596	606	626	714	765	774	758	776	821
支援員の必要数	26	31	40	40	44	44	44	44	44	45	46
支援員の配置数	26	25	36	38	41	39	41	43	43	41	41

※各年度4/1時点。必要数と配置数の差は補助員等で補填。

(2) 支援員の年齢構成

(単位：%)

項目	平均年齢	20代	30代	40代	50代	60代以降
平成25年4月1日時点	48.5歳	0	27	16	42	15
令和5年12月1日時点	55.5歳	2	9	15	22	52
差	7.0歳	2	△ 18	△ 1	△ 20	37

2. 学童保育所の課題

- (1) 将来的な支援員不足による待機児童発生への懸念
- (2) 支援員の高齢化による安全確保や高コスト化への懸念
- (3) 通年化する募集・任用事務や支援員不足を補填するための補助員の増加による事務の煩雑化
- (4) 現行制度下での支援員のモチベーションの維持
- (5) 長期休暇期間中の食事提供などの多様な保育ニーズへの対応

3. 運営・管理業務の検討に係る方向性

(1) 全国の学童保育所の運営・管理形態

厚生労働省調査「令和4年（2022年）放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の実施状況」

項目		施設数	全施設中の割合	公立施設の内訳
公立	公設公営	7,359	27.6%	35.9%
	公設民営	13,114	49.1%	64.1%
民間	民設民営	6,210	23.3%	
計		26,683	100.0%	

(2) 民間事業者による運営の効果

- ① 事業者のノウハウを活用した安定的な支援員の確保
- ② 広域的な募集・採用と流動的な配置による安定的な事業継続
- ③ 事業者のノウハウを活用した職員研修の充実
- ④ リーダー的役割を持つ職員の配置や業務実績の処遇への反映制度の導入など、
全国平均的な体制の構築と、支援員のモチベーション向上による質の向上
- ⑤ 長期休暇期間中の食事提供などの多様な保育サービスの提供